ワイヤレス地デジチューナー AN-T006 取付説明書

安全上のご注意

●安全のため、取り付け・結線作業の前に以下のご注意とこの「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業してください。
●お読みになった後はいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示について

この取付説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	⚠注意
この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

絵表示の例

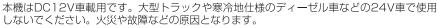
この記号は、注意（警告を含む）をしなければならない内容です。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。

この記号は、禁止（やってはいけないこと）する内容です。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

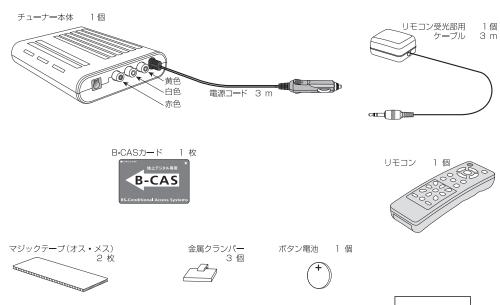
この記号は、必ず行っていただきたい内容です。

作業をはじめる前に

⚠警告

●取り付ける車のバッテリー電圧を確認する…
本機はDC12V車載用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災や故障などの原因となります。

●配線作業中は、バッテリーのマイナス側コードをはずす…
ショート事故による感電や、けがの原因となります。

取り付け場所について

⚠警告

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない…
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やケガの原因となります。

●本機を次のような場所に取り付けない…
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所/運転操作を妨げたり、はずれたりして、ケガや交通事故の原因となります。

⚠注意

●雨が吹き込むところなど水のかかるところや、湿気・ほこりの多いところへは取り付けない…
本機に水や湿気、ほこりが混入すると、発火や発煙の原因となることがあります。

●振動の多いところなど、しっかりと固定できないところには取り付けない…
はずれて、ケガや事故の原因となることがあります。

●直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ、また本機の通風穴や放熱部をふさぐ場所に取り付けない…
本機内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

取り付けの注意

⚠注意

●必ず付属の部品を指定通り使用する…
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずにはずれたりして、事故や故障の原因となることがあります。

●車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、ガソリンタンクなどの重要保安部品は絶対に使用しない…
これらを使用すると、制動不能や故障、発火の原因となることがあります。

●車体のビスを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける…
ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

結線の注意

⚠警告

●コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

●接続コード類は配線は、高熱部を避けて行う…
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。

●エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…
エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やケガの原因となります。

⚠注意

●正規の接続をする…
誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります。

●コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する…
コード類が車体部分との接触によりすり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。

●車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

構成部品

1. 本体関係

取付説明書　1 枚
取扱説明書　1 冊

2. フィルムアンテナ関係

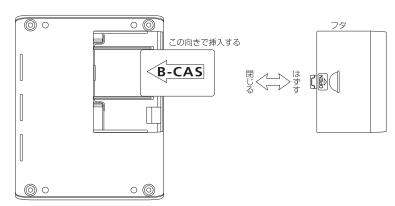
クリーナー　1 枚

B-CASカードの挿入

1. B-CASカードについて

●カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
●B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。

2. B-CASカードの入れかた

Ⅰ．エンジンを切り、ACCオフにしてください。
Ⅱ．本体裏側のフタをはずし、B-CASカードを指定の方向に一番奥まで挿入してください。（B-CASカードは図のように矢印が書いてあるほうを上にしてください。）
Ⅲ．B-CASカードをきちんと挿入した後フタを元通りに閉じてください。

※B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
※ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

フィルムアンテナの貼り付け

1. 貼り付け上のご注意

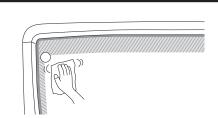
●保安基準※に適合させるため、本書をよくお読みになり正しく取り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第４項第６号に対する、平成15年９月26日付けの運輸省（現、国土交通省）令第95号をいいます。
●車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。
●車種によっては貼り付けられない場所があります。その場合は販売店にご相談してください。
●熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不適合ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には受信感度が極端に低下します。その場合はお買い上げの販売店に確認してください。
●必ず車内の貼り付け場所に市販のテープなどでいったんフィルムアンテナを仮止めして、お使いのラジオやテレビにノイズなどが入らないか確認してください。ノイズが入る場合はフィルムアンテナの位置を調節してください。
●フィルムアンテナの透明フィルムやアンプのウラシートをはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。
静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
●ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には貼り付けることができません。
●フィルムアンテナをフロントウィンドウに貼る場合は必ず指定された位置・寸法内に貼り付けてください。
●フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
●作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
●気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内にヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウインドウを暖めてから作業を行ってください。
●一度貼り付けてからはがすと貼り直しできませんので、必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めしコードの引き回しなどを十分に確認してから貼り付けてください。

次のような場所では映りにくいことがあります

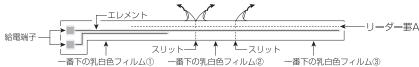
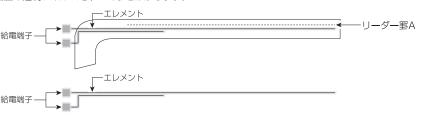
●ビルとビルの間。
●送電線が近くにある場所。
●放送局から遠い場所。
●山かげや木立のかげになる場所。
●上空を飛行機が通過または、電車が近くを通過している場所。
●自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどが近くにある場所。
●ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナが近くにある場所。

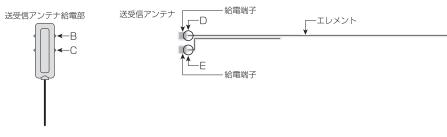
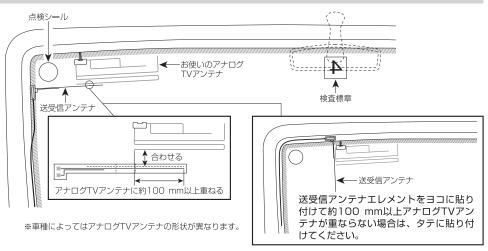
フィルムアンテナの貼り付け（続き）

2. フィルムアンテナの取り付け準備

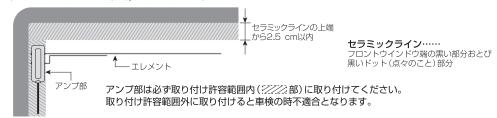
フィルムアンテナの貼り付け位置を決め、付属のクリーナーで貼り付ける場所の油脂や汚れ等を拭き取ります。

3. 送受信アンテナエレメント取り付け

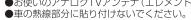
送受信アンテナエレメントは貼り直しが出来ないので必ず仮止めして位置を確定させてから全面を貼り付けてください。

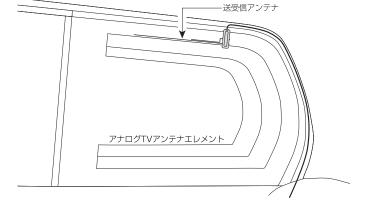
Ⅰ．エレメントの設置場所を決めます。（下図各ウインドウに貼り付ける例参照）
Ⅱ．エレメントは３層に分かれ、一番下の乳白色フィルムにはスリットが２本入っています。
Ⅲ．スリットとスリットの間隔が狭い乳白色フィルム②を剥がしてエレメントを仮止めします。その際リーダー罫Aがお使いのアナログTVアンテナに添うように貼り付けてください。）
Ⅳ．乳白色フィルムのスリット部から乳白色フィルム①と③を剥がしてエレメントを貼り付けます。

Ⅴ．一番上の透明フィルムの上から樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてウインドに貼り付けてください。（加圧が不足すると透明フィルムをはがす際に、エレメントがはがれたり、断線する恐れがあります。）
Ⅵ．一番上の透明フィルムをゆっくりとはがします。

4. 送受信アンテナ給電部取り付け

Ⅰ．送受信アンテナ給電部にある２つの突起部ＢとＣを給電端子の色が変わるＤとＥに重ねます。

フロントウインドウに貼り付ける例

貼り付け許容範囲について

窓枠から2.5 cm以内が貼り付け許容範囲になります。セラミックラインがある場合はそのラインの上端から2.5 cm以内になります。（セラミックラインの上には取り付けないでください。）

アンプ部は必ず取り付け許容範囲内（斜線部）に取り付けてください。
取り付け許容範囲外に取り付けると車検の時不適合となります。

リヤウインドウに貼り付ける例

●お使いのアナログTVアンテナ（エレメント）に添って貼り付けてください。
●車の熱線部分に貼り付けないでください。

サイドウインドウに貼り付ける例

●お使いのアナログTVアンテナ（エレメント）に添って貼り付けてください。

送受信アンテナケーブル配線（下図本体の取り付け参照）

Ⅰ．送受信アンテナケーブルを内張りに這わしてください。
Ⅱ．送受信アンテナケーブルを這わした後、本体の設置位置を決めてください。（車両の大きさによっては、本体の設置位置がかわります。）
Ⅲ．送受信アンテナケーブルがたるんだり、緩まないようにプラスチッククランパーを使用してケーブルを固定します。
Ⅳ．送受信アンテナを地デジチューナー本体にしっかりと差し込みます。

電源コードの配線（下図本体の取り付け参照）

Ⅰ．本体からの電源コードは、金属コードクランパーを使用してコードを固定します。
Ⅱ．本体からの電源コードを自動車側のカーシガーライターソケットへ挿入し、電源を供給してください。

リモコン受光部の取り付け（下図本体の取り付け参照）

Ⅰ．リモコン受光部を貼り付ける場所の汚れをきれいにふき取ってからリモコン受光部を貼り付けてください。
Ⅱ．リモコン受光部ウラ面のシートをはがして、センターコンソールなどの平らな面に貼り付けてください。
Ⅲ．リモコン受光部ケーブルをワイヤレス地デジチューナー本体にしっかりと差し込みます。

本体の取り付け

Ⅰ．本体のウラ側の平らな面２箇所に付属のマジックテープを貼り付けます。
Ⅱ．グローブボックスの下およびセンターコンソール側面などの平らな面で運転の妨げにならない場所に貼り付けてください。

接続の方法

1. システムの接続

ヒューズの交換について

プラグ先端部をはずし、ヒューズを取り出します。新しいヒューズを入れ先端部をしっかりと締めます。

ヒューズ
（管型ヒューズ定格 250 V 3 A）

シガープラグについて

イグニッションキーをOFFにしても、シガーライターソケットへの電源が切れない車があります。（シガープラグ本体のLEDが消えません。）このような車でご使用の場合、使い終わったら必ずシガープラグを抜いてください。接続したままにしておくと、バッテリーがあがってエンジンがかからなくなります。

LED

ご 注 意

●自動車のシガーライターソケットの内部が汚れていると、接触不良によりプラグ部分が熱くなることがあります。お使いになる前に必ずきれいにしてください。
●動作中および使用直後は、シガープラグやシガーライターソケットが熱くなっています。手を触れるとやけどやけがの原因になります。

結線終了後は、インシュロックタイやテープでコードを固定してください。
インシュロックタイ
○ ✕
絶縁テープ

取り付けや接続、その他ご不明な点は下記製造元にご相談ください。
製 造 元 KEIYO
株式会社 慶洋エンジニアリング
〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1 第3長谷川ビル
TEL：03-3431-8194（サービス）
受 付 時 間 10:00〜17:00 月曜日〜金曜日
（祝祭日および当社休日を除く）